

常総市コミュニティバス「JOYBUS」運行見直し（案）

令和8年4月 常総市都市計画課

1. はじめに（コミュニティバス運行開始の背景・目的）

本市では、人口減少・高齢化が進む中、地域内移動を支える公共交通を充実させるため、令和6年4月からコミュニティバス「JOYBUS」の運行を開始しました。限られた台数で市内全域を網羅的にルート設定していたため、各ルートの便数が少なく利便性に大きな課題を抱えており、また、利用の少ないルートや便が多いことから効率的な運行が困難となっていました。

そこで令和7年4月には運行内容を大きく変更し、曜日別運行を導入したことで、各ルートの1日あたりの便数が増加しました。往復利用がしやすくなったことで一部の利用増につながったものの、運行曜日が限られることから通勤・通学での定期的な利用が難しく、現在も利用状況は伸び悩んでいます。また、運転手不足や運行コスト増加等の背景から、路線バスやコミュニティバスをめぐる環境は年々厳しくなっており、「使いやすさ」と「将来にわたって維持できる運行」を両立させることの重要性が増しています。

また、予約型乗合交通「ふれあい号」はドア・ツー・ドアで移動できるデマンド交通として、特に高齢者の通院や買物等の日常的な移動を支えています。需要に対して供給が不足しており、予約がとりにくい時間帯が生じている状況です。

これらの現状を踏まえ、コミュニティバスの利用実態に合ったルートへの再編とデマンド交通による補完を行うことで、車両や運転手等の限られた運行資源を有効に活用し、利便性を向上しながら持続可能な運行体制への転換を進めます。

2. JOYBUS 現状の課題

これまでの利用状況やアンケート調査結果から、次のような課題があげられています。

- 「1時間に1本以上」の運行頻度が求められている。
- 利用者が少ないルートや区間がある。
- 毎日の通勤・通学に利用したいとの声にこたえられていない。
(現在は曜日別運行であるため通勤・通学の利用が難しい。)
- 周辺市への移動に利用したいとの声が増えている。
- ルートが多く分かりにくい。
- 運行時間が長く、目的地まで時間がかかる。

これらの課題を解決し、利便性と運行効率を向上するため、JOYBUS 運行計画の見直しを実施し、次頁の基本方針をもとにルートの再編を行います。

3. JOYBUS 見直しの基本方針

今後の本市の持続可能なまちづくりのために、公共交通の利便性および運行効率の向上を目指します。JOYBUS の運行についても、市内全域を均一に循環するのではなく、需要が多い箇所へ運行資源を集中するよう段階的に見直していきます。

(1) 幹線（主要ルート）と支線（補完交通）の役割分担

市内の公共交通の役割分担を明確化し、幹線と支線それぞれの役割および地域住民・利用者の移動需要の性質に合った交通手段を提供することで、バスが持つ大量輸送の特徴とデマンド交通が持つドア・ツー・ドア移動の性質をそれぞれ活かし、利便性および運行効率の向上を目指します。コミュニティバスは路線バスと同様に「幹線」を担い、主要な道路や地区を通り、鉄道駅に接続します。それらを補完する「支線」は、既存のデマンド交通であるふれあい号が担うほか、自動運転技術の導入等も含めた新たな施策を検討していきます。

(2) 利用の多い区間へ運行資源を集中（段階的な見直し）

バス車両（3台）や運転士、運行費用等の限られた運行資源を効率的に活かすために、現在利用者が多く見られ今後も需要が見込まれる区間を中心にルートを集約します。

集約したルートでの運行開始は令和8年9月からを予定しており、その他の現行ルートは試験的に休止とします。なお、集約・休止後の利用状況を踏まえ、令和9年4月を目途に、再度バスルートの再編を行います。

(3) 分かりやすいルート構成へ

利用の多い区間を中心にルートを集約することで、各ルートの運行日を曜日別から毎日運行へ変更します。わかりやすく利用しやすいバスを目指します。

4. バスルート集約に伴うふれあい号の増車

コミュニティバスおよび路線バスの利用区域外の地区では、バスが担う大量輸送とは異なる個別の需要に対応するため、ドア・ツー・ドア移動のふれあい号を令和8年10月（予定）から1台増車します。また、将来的には、自動運転技術の導入等も含めた新たな施策を検討していきます。

5. ルート集約の内容

現状の課題やこれまでの利用状況を踏まえ、見直しの基本方針に基づき、ルートの集約を行います。

(1) ルート集約の内容

- ・現在運行している13ルートのうち、一部のルートを試験的に休止とします。
- ・運行を継続するルートについても、これまでの利用状況等を踏まえ一部ルートの修正を行います。
- ・朝夕の時間帯に、市南部から水海道地区の中学・高校への通学需要、通勤需要を検証するためのルートを新設します。
- ・集約後のルートは6ルートを予定しています。
- ・集約後のルートは毎日運行します。
- ・平日ダイヤと休日ダイヤを設定します。（※休日…土日祝日）

※集約後のルート図等の詳細については、別添の「資料編」をご確認ください。

(2) ルート集約の時期

令和8年9月1日から集約後のルートで運行

(3) 集約後の運賃の考え方

集約後のルートには、現行の運賃設定を適用します。

なお、令和9年4月予定の次期再編時においては、区分の細分化等の運賃の見直しについても検討していきます。

※現行の運賃設定・・・大人 250円、小人 100円、未就学児 無料

その他割引制度等の詳細は、別添の「資料編」をご確認ください。

6. 今後のスケジュール

令和8年	6月	公共交通活性化協議会（令和8年度第1回会議） ※本案の最終承認
	7月	変更届出（運行事業者から運輸局への届出）
	7～8月	広報等による周知
	9月1日	再編ルート（本案）での運行開始
	10月1日	ふれあい号車両の1台増車
令和9年	4月	再編ルート（本案）の運行実績を踏まえた再編